

弊社は、当時『限定免許』という、特定の荷主様の荷物のみを扱える運送業者として、昭和43年3月に高松市中央卸売市場の中で創業しました。

開業当初は『限定免許』ということもあり、農産物の輸送のみを生業としていましたが、高度経済成長による旺盛な輸送需要に後押しされ、昭和46年には、不特定多数の荷主様の荷物を扱える『一般免許』を取得しました。現在の輸送品目は冷凍食品を中心に、乳製品、アイスクリーム、農産物等ほぼ低温輸送に特化しており、北は仙台、南は鹿児島まで大型冷凍車を走らせております。

車輛台数の増加に伴い平成4年、高松市朝日町に現在の本社と車庫を新設し移転いたしました。現有の車輛台数大小合わせて約50台、従業員数約70名の所帯でお客様からお預かりした荷物を運ん

でおります。

物流企業というものは常に事故の危険と隣り合わせで運営されています。

弊社も開業から現在まで少なからず事故を経験してきました。実際、交通事故、労災事故を無くすということは我々の業界において永遠の課題であるかのように日々何処かで事故は起こっています。

これらの事故を極少化する、或いは発生しても被害を最小限に止めるため、弊社が乗務員に言い聞かせていることは『プロのドライバーという自覚を持って日々の業務に従事すること』です。そこで、プロのドライバーとはいかなる者なのかという点ですが、単に運転の技能が優れているということだけではなく、法令、社内外の規定等を常に遵守して業務に当たることと説いています。法、規則、マナーを守って運転していれば自分が事故の加害者になることはほぼはないということです。

また我々の業界は長時間労働、過重労働になり

がちです。これらが重なれば誤った意味でのプロの意識が芽生え、事故の原因となってしまう。

弊社ではそういった芽を摘み取るべく、適正な労働条件、労働環境を整備するよう努めております。

ここ数年、トラック業界は深刻な人材不足に悩まされております。これは若年層の人口減に加え、運送業は魅力的な仕事ではないと思われていることが大きな要因の一つです。トラックに乗るといふことは、常に事故のリスクが付き纏う危険な仕事であるという意識を払拭しなければならぬと業界では痛感しています。そのためにも、いまは個々の企業が交通事故撲滅に取り組まなければならないときではないかと感じています。

弊社はこれからも真のプロドライバーを育成し、安全運行を励行することと理念として社業を推進していきたいと思っております。

高松市場運送株式会社

代表取締役 成木 肇